

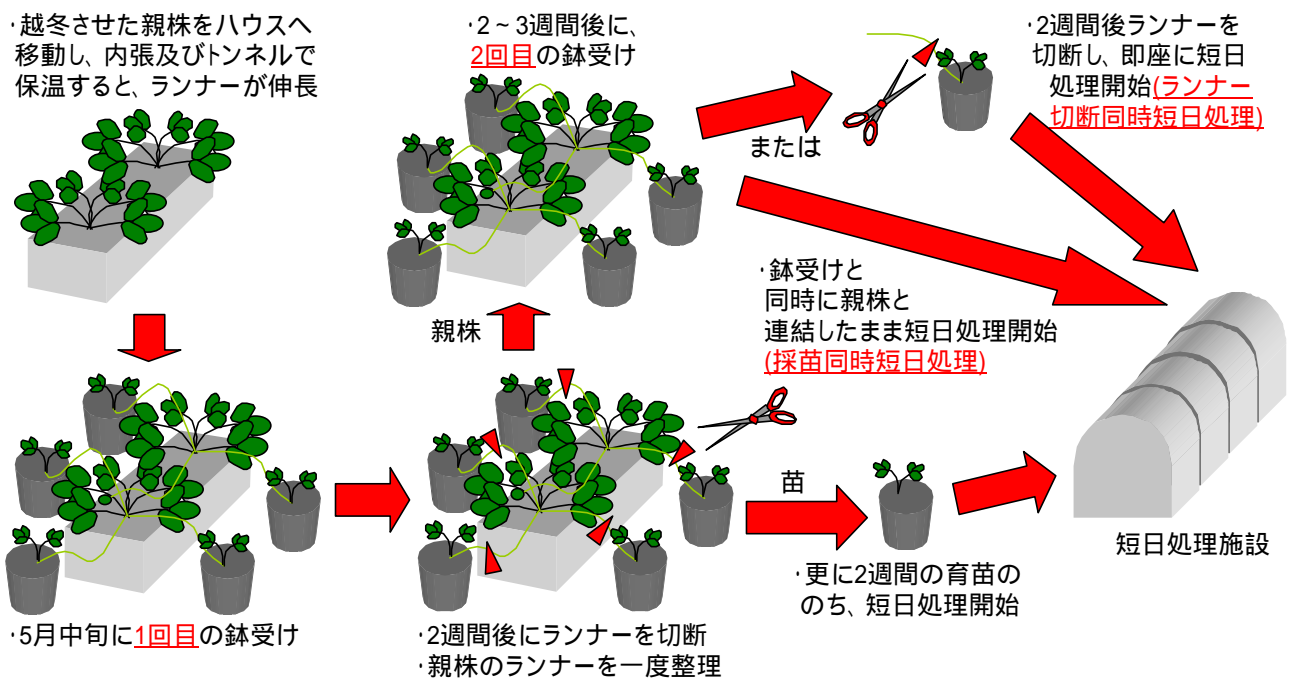
イチゴ「北の輝」秋春二期どり作型で 採苗効率を向上させる2回採苗法

【1 成果の概要】

イチゴ秋春二期どり作型(研究レポート No.348 参照)において、ランナー切断同時短日処理、または採苗同時短日処理を組み合わせ、同一親株から2回採苗することにより、7月末までに短日処理が完了した定植苗が約2倍得られます。

【2 効果】

育苗日数を短縮できることから、2回目採苗の苗でも7月下旬に定植できます。



同一親株からの採苗間隔と採苗数

採苗間隔	1回目		2回目		3回目		1回目+2回目の合計採苗数 (苗/親株)
	採苗日 (月日)	採苗数 (苗/親株)	採苗日 (月日)	採苗数 (苗/親株)	採苗日 (月日)	採苗数 (苗/親株)	
3週間	5/17	4.5	6/5	3.3	6/27	4.3	7.8
4週間	5/17	4.5	6/13	5.4	-	-	9.9

【3 この技術を上手に使うには】

この採苗法はイチゴ秋春二期どり栽培で行いますので、品種には「北の輝」を用います。定植が8月以降になると、高温により花芽の分化が安定せず、また、秋期の収穫期間が短くなることにより収量が低下しますので、2回目の採苗した苗も7月中に定植できるように計画的に作業するようにしてください。